



立命館大学 英語対策講座

河合塾講師：村瀬 康広

河合塾

立命館大学
英語対策講座

河合塾 英語科講師 村瀬康広

英文の特徴、文脈、ボキャブラリーを意識して英文を読み、設問を解く

1. 1つのパラグラフには1つの言いたいことがある。
 - ・ パラグラフが変われば、ストーリー展開も変わる
2. それぞれのパラグラフの始めの文と終わりの文に注目。
 - ・ パラグラフの始めに言いたいこと⇒くわしく説明
 - ・ 最終文が次のパラグラフの導入になる **or** そのパラグラフの内容をまとめることもある
3. 文と文をつなぐ語句からストーリー展開を判断する。
 - ・ **but** (逆接)、**for example** (具体例)、**on the other hand** (対比)、**in addition** (追加)などの語句が話の流れを誘導しているので要チェック
4. つなぐ語句が無ければ、そのままの流れ(順接)で進む。
 - ・ まとめ⇒具体例のように、徐々に話の内容をくわしくしていく
 - ・ 昔⇒今のように、時間の流れで進む など
5. 似た意味の語句(類義語・派生語)で、順接・言い換えをしている。
 - ・ 文構造を変えて順接・言い換えをすることもある
 - ・ 正解の選択肢は本文の該当箇所の言い換えになっていることが多い
6. 逆の意味の語句(対義語)で対立・対比になっている。
 - ・ 選択肢を判断するときに使えることがある／該当箇所と逆の意味の選択肢は不正解
7. ボキャブラリーの知識や英文法・文構造の基本はある程度わかっていることが前提となる。
 - ・ 複数の語句と組み合わせてつかうものはまとめて押さえることで英文は読みやすくなる
 - ・ 英文の語順・文法のルールはある程度決まっているので、基本を押さえると読みやすくなる

【傾向と対策】

I

[1]

- ・設問で尋ねる事柄に該当する部分を本文から見つける。パラグラフ単位で該当箇所を見つけるとよい。(また本文中の複数の部分が解答の根拠になることもある。)
- ・大文字を使う固有名詞、数値、一度しか使われない語句は比較的見つけやすい。
- ・正解の選択肢は、本文中の英文とは別の語句や構造を用いて書き換えてあることが多い。

(A) 第1段落／the heavy rainfall in San Francisco in October 2021

(B) 第2 + 3段落／rain garden は今回の英文のキーワード

(C) 第4段落／added benefit of rain gardens ⇔ a wealth of other benefit

(D) 第6段落／第1～5段落の肯定的な展開から、But以降の否定的な展開

[2]

- ・本文の内容からだけではどちらとも判断しかねるものを決める場合、選択肢の内容(の一部)が本文に記載されていないことが多い。

(1) 第3段落／the Lincoln Memorial／the Outer Sunset neighborhood

(2) 第5段落／many countries／Denmark, Poland, Brazil

(3) 第7段落／low income communities

(4) 第8段落／EPA

(5) 第8段落／the number of individuals (一部記述なし)

[3]

- ・本文の内容をもっともよく表しているものは、本文のキーワードを含み、本文全体の内容をまとめたものになる。本文に書いてあっても、本文の内容の一部にしか触れていないものは正解にならないことに注意。

II

[1]

- ・空所を含む文とその前後の文が論理的につながる意味になるような語句、空所に入れる語句とその周りの語句を組み合わせるもの、または空所を含む段落の内容に当てはまる語句を選ぶことになる。文法・構造的から解答が決まる or 決まらないものがある。

[2]

- ・下線を引いた語句に代名詞が入っているのが特徴的。下線部にある代名詞が指す語句や文の内容を、その前後から読み取り、全体として論理的につながる意味となる選択肢を選ぶ。代名詞の単数・複数の区別がヒントになることもある。

III

- ・空所の部分とその前後の対話の展開がつながるような意味の選択肢を選ぶ（ex：疑問に対する返答など）。文構造や文法のポイント（ex：英語は形を揃える傾向あり／時制など）、代名詞や副詞が指す内容（ex：物事や人、場所、時間、単数複数の区別など）を根拠に正解となる選択肢を決めることになる。
- ・なんとなく、感覚的に選択肢を選ばないように注意

IV

- ・文法のポイントを尋ねる問題で、大部分の問題は市販の文法の問題集で対応することができる。（一部難しい問題もある）
- ・英文の意味で解答が決まるものもある。

V

〔1〕

- ・文意が成り立つように空所に単語を選択する問題で、単語の品詞は名詞、動詞、形容詞などいろいろ出題される。選択肢の品詞はすべて同じ。普段使っている市販の単語集で対応可能。
- ・選択肢の中に一部難しい単語が入っていることもある。
- ・空所の周りの語句から英文の意味を類推することも必要なときがある。

〔2〕

- ・英文中の下線を引いた単語と近い意味の単語を選択する問題で、単語の品詞は名詞、動詞、形容詞などいろいろ出題される。選択肢の品詞はすべて同じ。普段使っている市販の単語集で対応可能。
- ・選択肢の中に一部難しい単語が入っていることもある。
- ・下線の周りの語句から英文の意味を類推することも必要なときがある。

【解答】2025年2月4日実施分

I

- | | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|-------|
| [1] (A) (3) | (B) (2) | (C) (4) | (D) (2) | |
| [2] (1) 2 | (2) 1 | (3) 2 | (4) 1 | (5) 3 |
| [3] (1) | | | | |
-

II

- | | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|---------|
| [1] (A) (4) | (B) (3) | (C) (2) | (D) (2) | (E) (3) |
| (F) (4) | (G) (3) | (H) (1) | | |
| [2] あ (4) | い (3) | う (1) | え (4) | お (3) |
-

III

- | | | | |
|-----------|-------|--------|-------|
| [1] あ (7) | い (3) | う (10) | え (2) |
| [2] か (2) | き (9) | く (10) | け (5) |
-

IV

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| (A) (2) | (B) (2) | (C) (3) | (D) (1) | (E) (1) | (F) (2) |
| (G) (3) | (H) (1) | | | | |
-

V

- | | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|---------|
| [1] (A) (1) | (B) (3) | (C) (4) | (D) (3) | (E) (2) |
| [2] (A) (3) | (B) (1) | (C) (2) | (D) (3) | (E) (4) |